

平成22年 6 月10日
原子力安全対策課
(2 2 - 3 4)
<18時記者発表>

敦賀発電所 1 号機の原子炉手動停止について (湿分分離器ドレンタンクからの蒸気漏れ)

このことについて、日本原子力発電株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

敦賀発電所 1 号機（沸騰水型軽水炉；定格電気出力35.7万kW）は、定格熱出力一定運転中の 6 月10日15時05分頃、特別区域*¹巡視点検中の運転員が、タービン建屋 1 階にある湿分分離器ドレンタンク*² 2 台（A，B）のうち、A タンクの保温材から水が滴下（1 滴／5 秒）し、下部の床面に水溜まり（約 1 m×1 m）があることを確認した。

このため、保温材を取り外して確認したところ、当該タンクの胴部にあるマンホールのフランジ合わせ面付近からのわずかな蒸気漏れが確認された。

蒸気漏れの原因調査を行うため、本日19時頃から出力降下を開始し、同日 23 時頃に発電を停止、翌11日 4 時頃に原子炉を停止する。

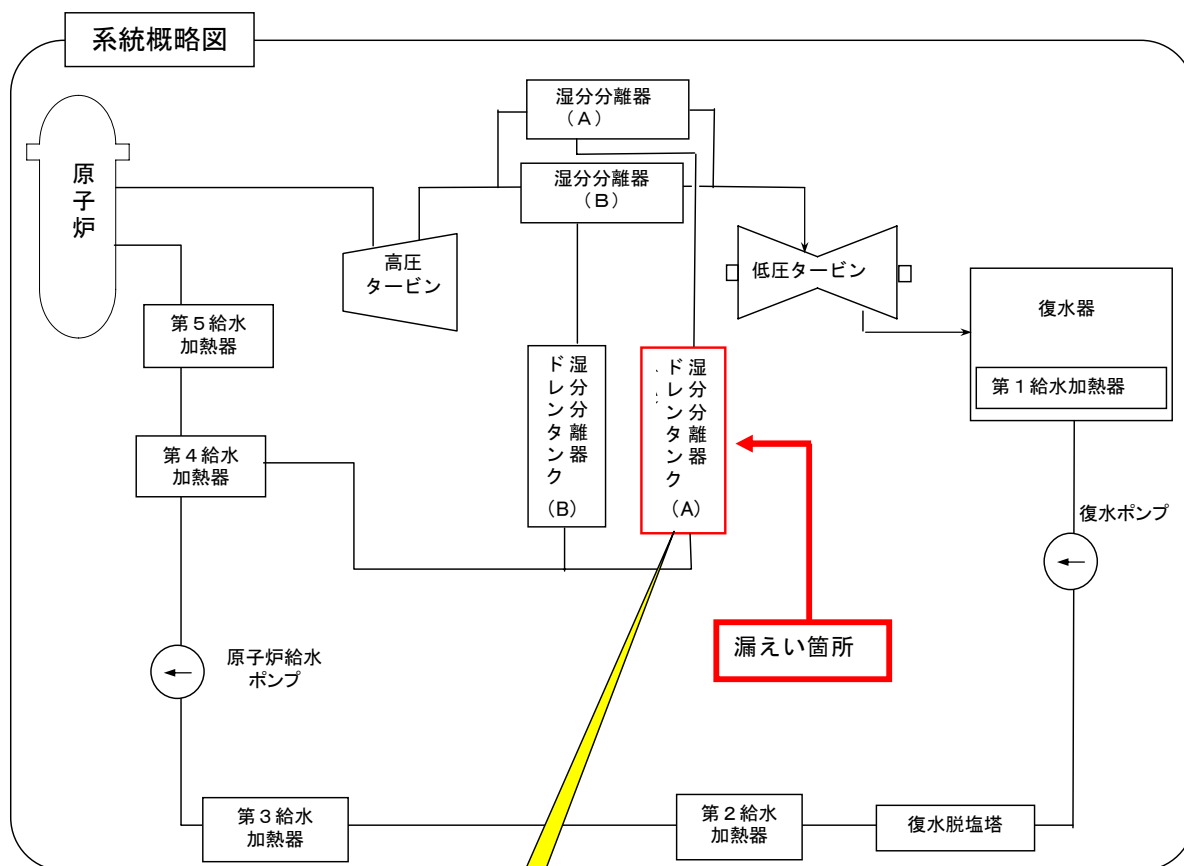
なお、本事象による周辺環境への影響はない。

* 1：放射線管理区域のうち、線量当量率が 1 mSv/h を超える箇所。運転員の巡視点検は 2 週間に 1 回の頻度で行う。

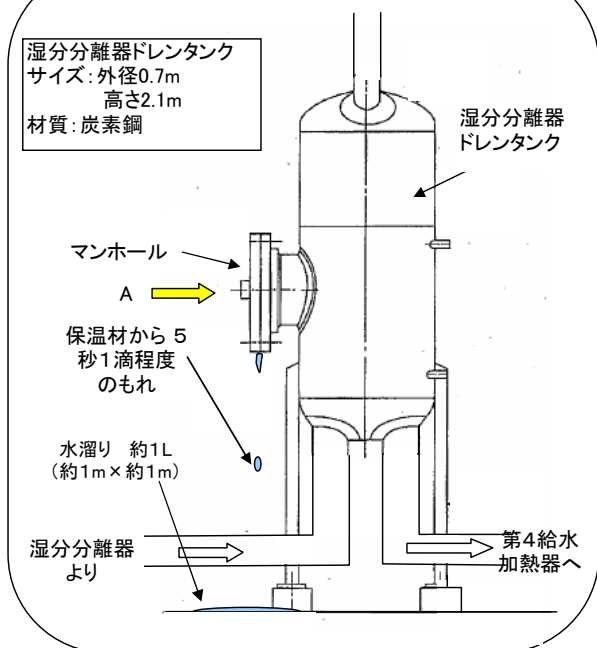
* 2：高圧タービンを出た蒸気の湿分を取り除く湿分分離器からのドレン水を受けるタンク

問い合わせ先(担当：吉田) 内線2352・直通0776(20)0314
--

敦賀発電所1号機の原子炉手動停止について(湿分分離器ドレンタンクからの蒸気漏れ)



湿分分離器ドレンタンク概略図



保温材取り外し後の状況 (A方向より)

